

沖縄中学生の平和の詩を同席した安倍総理は理解できたのか

あなたの国保料下がりましたか 医療難民生まないためにより関心を

表1（本号外1806号から）の保険料体系にしたことで、本年度の国民健康保険料は加入者一人平均12,400円弱下がった。今年3月末の財政調整基金20億7千万円のうち、5億3,700万円を使っ

ての引き下げだった。すでに保険料の通知が届いているはず。ぜひ昨年度と比べてみてほしい。所得階層が700万円以上でなければ下がっているはずだ。

今年からの都道府県単位の国保広域化に伴い、国は3400億円を交付金として負担した。しかし、協会健保並みに保

険料を引き下げるには1兆円が必要だと言われる。

したがって相変わらず国民健康保険料は他の健保に比べて負担が重い。軽減措置があるとはいえ、

曲学阿世の徒

「トリクルダウン」を主張した竹中平蔵氏は「滴り落ちてくるなんてないですよ。あり得ないですよ」と開き直ったのは16年1月1日

制度ぎりぎりの所得水準の市民ほど生活費優先で滞納となる。滞納が続き、資格証となれば窓口で100%医療費を負担し、市に還付申請をするので、医療へのアクセスは困難となる。つまり、国民皆保険との建前の中で「医療難民」が事実上存在することになる。貧困はあなたの身近に迫っている。

の「朝まで生テレビ」での発言。

「高プロ」問題では東京新聞21日朝刊で「時間内に仕事を終われない、生産性の低い人に残業代という補助金を出すのも一般論としておかしい」と言い切った。

表1 保険料比較

	医療分				支援分		介護分		一人あたりの保険料
	応能		応益		応能	応益	応能	応益	
	所得割	資産割	均等割	平等割	所得割	均等割	所得割	均等割	
昨年度	7.16%	5.00%	26,200円	25,000円	1.84%	10,000円	1.50%	12,200円	103,555円
今年度	5.50%	なし	14,000円	34,000円	2.75%	11,800円	2.24%	13,300円	91,082円

命よ響け。生きゆく未来に。

23日の全沖縄戦没者追悼式で朗読された平和の詩、『『生きる』全文。詩は浦添市立港川中3年相良倫子さんが作り朗読した。ふたたび戦争の犠牲を生まないために採録・紹介する。

私は、生きています。

マントルの熱を伝える大地を踏みしめ、心地よい湿気を孕んだ風を全身に受け、草の匂いを鼻孔に感じ、遠くから聞こえてくる潮騒に耳を傾けて。

私は今、生きています。

私の生きるこの島は、何と美しい島だろう。

青く輝く海、

岩に打ち寄せしぶきを上げて光る波、

山羊の嘶き、

小川のせせらぎ、

畑に続く小道、

萌え出づる山の緑、

優しい三線の響き、

照りつける太陽の光。

私はなんと美しい島に、

生まれ育ったのだろう。

ありつたけの私の感覚器で、感受性で、

次頁に続く

島を感じる。心がじわりと熱くなる。

私はこの瞬間を、生きている。

この瞬間の素晴らしさが

この瞬間の愛おしさが
今と言う安らぎとなり

私の中に広がりゆく。

たまらなく込み上げるこの気持ち

どう表現しよう。

大切な今よ

かけがえのない今よ

私の生きる、この今よ。

七十三年前、

私の愛する島が、死の島と化したあの日。

小鳥のさえずりは、恐怖の悲鳴と変わった。

優しく響く三線は、爆撃の轟に消えた。

青く広がる大空は、鉄の雨に見えなくなった。

草の匂いは死臭で濁り、

光り輝いていた海の水面は、

戦艦で埋め尽くされた。

火炎放射器から吹き出す炎、幼子の泣き声、

燃えつくされた民家、火薬の匂い。

着弾に揺れる大地。血に染まった海。

魑魅魍魎の如く、姿を変えた人々。

阿鼻叫喚の壮絶な戦の記憶。

みんな、生きていたのだ。

私も何も変わらない、

懸命に生きる命だったのだ。

彼らの人生を、それぞれの未来を。

疑うことなく、思い描いていたんだ。

家族がいて、仲間がいて、恋人がいた。

仕事があった。生きがいがあった。

日々の小さな幸せを喜んだ。手をとり合って生き

てきた、私と同じ、人間だった。

それなのに。

壊されて、奪われた。

生きた時代が違う。ただ、それだけで。

無辜の命を。あたり前に生きていた、あの日々を。

摩文仁の丘。眼下に広がる穏やかな海。

悲しくて、忘れることのできない、この島の全て。

私は手を強く握り、誓う。

奪われた命に想いを馳せて、

心から、誓う。

私が生きている限り、

こんなにもたくさんの命を犠牲にした戦争を、絶

対に許さないことを。

もう二度と過去を未来にしないこと。

全ての人間が、国境を越え、人種を越え、宗教を

越え、あらゆる利害を越えて、平和である世界を

目指すこと。

生きる事、命を大切にできることを、

誰からも侵されぬ世界を創ること。

平和を創造する努力を、厭わないことを。

あなたも、感じるだろう。

この島の美しさを。

あなたも、知っているだろう。

この島の悲しみを。

そして、あなたも、

私と同じこの瞬間（とき）を

一緒に生きているのだ。

今と一緒に、生きているのだ。

だから、きっとわかるはずなんだ。

戦争の無意味さを。本当の平和を。

頭じゃなくて、その心で。

戦力という愚かな力を持つことで、

得られる平和など、本当は無いことを。

平和とは、あたり前に生きること。

その命を精一杯輝かせて生きることだとい

ことを。

私は、今を生きている。

みんなと一緒に。

そして、これからも生きていく。

一日一日を大切に。

平和を想って。平和を祈って。

なぜなら、未来は、

この瞬間の延長線上にあるからだ。

つまり、未来は、今なんだ。

大好きな、私の島。

誇り高き、みんなの島。

そして、この島に生きる、すべて

の命。

私と共に今を生きる、私の友。私

の家族。

これからも、共に生きてゆこう。

この青に囲まれた美しい故郷から。

真の平和を發進しよう。

一人一人が立ち上がって、

みんなで未来を歩んでいこう。

摩文仁の丘の風に吹かれ、

私の命が鳴っている。

過去と現在、未来の共鳴。

鎮魂歌よ届け。悲しみの過去に。

命よ響け。生きゆく未来に。

私は今を、生きていく。

